

人間関係論

科目コード

FC2689



単位数	履修方法	配当年次	担当教員
1	S(講義)	1年以上	山口奈緒美・熊谷 智博

※この科目の会場スクーリングは隔年開講予定です。2018年度の開講後は2020年度開講予定です。

※オンデマンド・スクーリングは2018・2019年度開講予定です。

※この科目のスクーリングは、仙台・オンデマンド開講分を山口奈緒美先生、東京開講分を熊谷智博先生が担当します。

科目の概要

■スクーリングで学んでほしいこと

人間関係は私たちにとって必要であり、また避ける事の出来ない問題でもあります。この人間関係について主に心理学の観点から理解し、日々の生活に役立てる方法を学んでもらえるよう講義を進める予定です。講義で扱ったトピックを自分の経験と照らし合わせながら理解してもらいたいと思います。

■到達目標

- 1) 日常場面での人間関係について、理論的に理解できる。
- 2) 自分自身の人間関係についての経験を理論的に説明できる。
- 3) 対人葛藤場面での解決方法を学び、自分なりに応用する事ができる。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

心理実践力を身につけるため、とくに、「総合的な人間理解力」、「共感と自己尊重に基づくコミュニケーション力」、「自己理解に基づくセルフコントロール力」、「集団理解に基づく対人調整力」を身につけてほしい。

▶仙台・オンデマンド開講分 山口奈緒美

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	人間関係の時系列的視点①	人間関係の始まり
2	人間関係の時系列的視点②	人間関係の維持
3	人間関係の時系列的視点③	人間関係の崩壊、対人葛藤の原因と解決
4	人とのかかわり①	受容と拒絶
5	人とのかかわり②	拒絶感受性

6	人とのかかわり③	ソーシャルサポート
7	人間関係にかかわる多様なバイアス	人間関係をゆがめるバイアス
8	まとめ	
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

講義はパワーポイントを用いて進めます。受講者には講義で用いるスライドにもとづいて作成された資料をお配りします。

この資料は、受講者が適宜工夫して記入し、受講者オリジナルのノートとして作成しやすいように作られています。

■スクーリング 評価基準

スクーリング試験（100%：配付資料と自筆のノートのみ持込可。図書類は持込不可）

■スクーリング時の教科書

スクーリングにあたって教科書は使用しません。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

人間関係がどのように始まり、深まり、維持されているか、あるいは崩壊してしまうかについて、ご自分の人間関係を見直してみてください。また、自分が日頃、他者を受容したり拒絶したりしているかどうか、分析してみてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

自分の人間関係について考察する際、講義で紹介したさまざまな実験のように、どの事柄が人間関係に影響を及ぼしているか、あるいは及ぼしていないのか、明確に区別できるように現実の分析力を高めてください。

■参考図書

藤森立男編著『人間関係の心理パースペクティブ』誠信書房、2010年

奥田秀宇著『人をひきつける心 対人魅力の社会心理学』サイエンス社、2008年

浦 光博著『排斥と受容の行動科学 社会と心が作り出す孤立』サイエンス社、2009年

▶東京開講分 熊谷 智博

■スクーリング講義内容

様々な人間関係とその特徴について解説します。

回数	テーマ	内容
1	人間関係とは	人間関係と親密さについて
2	恋愛と友人関係	親密な人間関係、特に友人と恋愛の違い
3	家庭での人間関係	夫婦関係と親子関係、高リスク家族など
4	学校での人間関係	児童・生徒の人間関係、いじめ
5	透明性の錯覚	他人との意思疎通について
6	集団での人間関係①	社会的促進、ただ乗り、内集団びいき
7	集団での人間関係②	社会的アイデンティティ、集団間葛藤
8	質疑応答	講義内容についての質疑応答
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

配付資料をもとにパワーポイントを使用し、具体的な話題も含めながら講義を進めます。

■スクーリング 評価基準

スクーリング試験100%（持込可）

試験では、とくに到達目標記載内容についての理解を問います。

■スクーリング時の教科書

スクーリングにあたって、教科書は使用しません。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

講義内容の関心あるテーマについて、自分なりに学びたいことを考えてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

講義内容からさらに深く学びたいと思ったことに対して、調べてみてください。